

令和7年度の赤潮発生概況

令和7年度の広島県海域における赤潮発生件数は、県西部海域で0件、県東部海域で3件、合計3件（前年3件）であり、のべ発生日数は253日（前年273日）であった。

なお、漁業被害は発生していない。

【有害種の出現状況】

○シャットネラ属

7月下旬から11月上旬にかけて県東部海域で出現を確認し、最高密度477細胞/mlに増殖したが、漁業被害はなかった。

○コクロディニウム・ポリクリコイデス

9月上旬から11月上旬にかけて県東部海域で出現を確認し、最高密度は440細胞/mlに増殖したが、漁業被害はなかった。

【その他の種の出現状況】

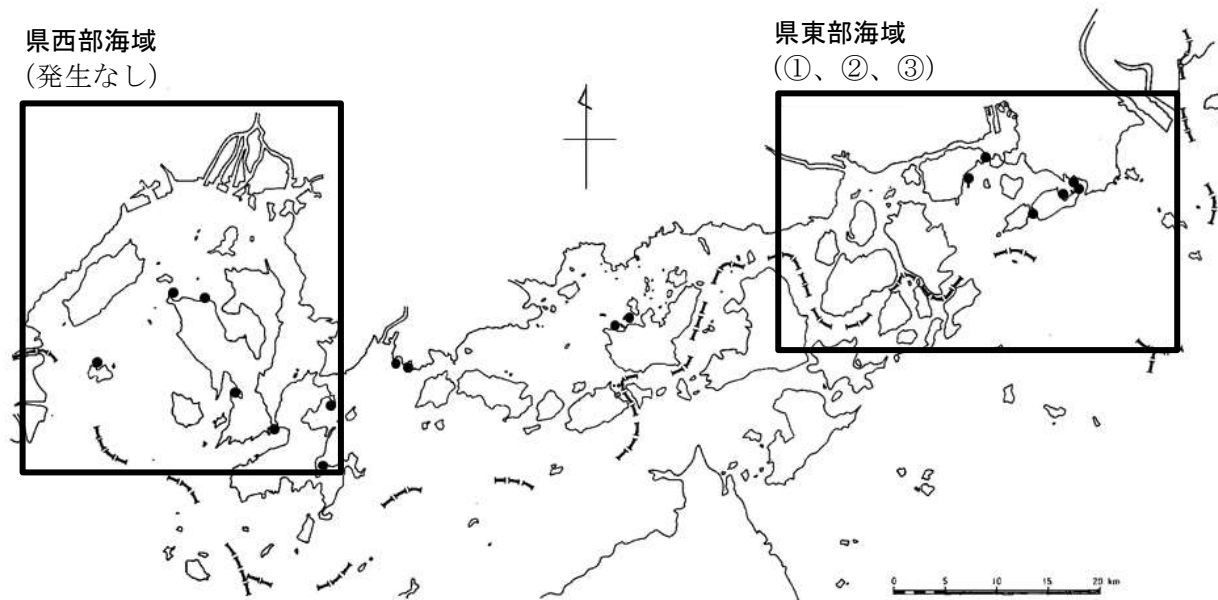
○ノクチルカ属

令和7年3月下旬から6月中旬にかけて県東部海域で出現を確認し、最高細胞密度126細胞/mlに増殖したが、漁業被害はなかった。

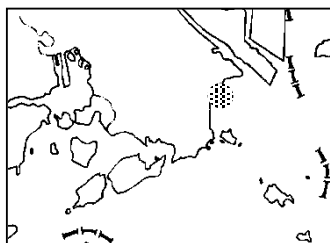
※その他の種

赤潮注意報及び警報の対象ではないが、情報収集・伝達の対象となっている種。

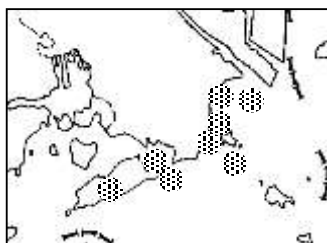
令和7年度赤潮発生海域図



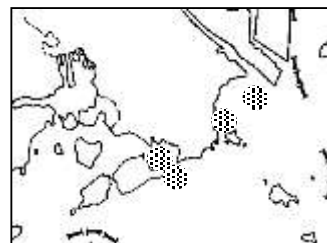
県東部海域



① 3/25～6/11 ノチカ属



② 7/22～11/6 シヤットネラ属



③ 9/2～11/6
コクロデ・イウム・ホ・リクリコイテス

- : 魚類養殖漁場
- ⊞ : 発令基準を満たした調査点